

◆ わたしの視点 4 ◆

副市長二人制は説明不足

副市長を二人制にする条例改正が14：15の僅差で否決されてしまった。新市最初の定例議会初日の市長提出議案が否決されたというのは私は残念でならない。市長・執行部が何故、大切な議案をもっと慎重に扱わないのか不思議でならない。議員も提案理由がしっかりしていなくては賛成のしようがない。初議会最初の議案を反対に回らざる得なかった議員達も、さぞかし残念でなかったかと推測する。議会に諮る前に議案の持つ目的に対する想いと考え方が良く整理されていなかったのではなかろうか。何の為に、何故今、提案するのが議員や市民の期待するものと違っていたか、説明が不足していたと考える。私は基本的に7万人の人口になった村上市が副市長二人制を布く事には賛成です。ただ、何の為にと言うところの考え方をスッキリさせた上である。私の考えであれば先のわたしの視点でも少し触れたが、一人の副市長は市長の構想する市政運営の為、市長に代わって900名に及ぶ職員の指揮・統括、そして全ての事務事業の進行状況の点検と確認をし、市長に的確な報告を上げ市長が現状の把握と次への施策展開の為の現場・窓口情報の提供を受けられるようにする。もう一人の副市長には市長の進める政策を実行に移す為、複数にわたる庁内の関係担当部局の執行責任者として市長と部局、国・県を始めとする外部機関・団体との交渉窓口として政策を担い奔走する。以上の事に使命と目的を持たせ提案すべきと思う。地域・地区と市長を結ぶ仕事は支所・公民館等の機能、体制をしっかりとすれば副市長を直接窓口にする必要は無いと考える。高額な人件費を心配する声も有りますが、市民の安心・安全そしてより良い暮らしの為に、900名の職員が機能的に働いて、市長が政策を次々進められるようサポートするのが副市長であれば議員も市民も理解するものと思っています。